只見町商工会
連携企画

ただみの今を支える人たち

有限会社只見重車輌　代表取締役社長　**鈴木　聖**さん


▲除雪機を前にする鈴木聖さん

工事や除雪で使う重機を取り扱う「有限会社只見重車輌」。今回は、代表取締役社長の鈴木聖さんにお話を伺いました。

―会社について教えてください

「昭和48年にコマツ福島会津支店只見出張所兼只見重車輌として設立しました。現在は整備士5人、事務スタッフ3人で、建設機械の整備やリースを行っています。今の時期は通常業務に加え、冬に備えて町の除雪車の点検、車検整備も重なるため、年間で最も忙しいです。除雪が安全に行えるよう、1台1台しっかりと整備しています」

―この仕事を始めたきっかけは？

「学生時代はミュージシャンなど現実味の無いような将来の夢しかありませんでしたが、只見高校の恩師の勧めで家業を継ぐため、自動車整備の専門学校に行きました。最初の授業で班に分かれ、夜遅くまで暴走族みたいなクラスメイトと、車からエンジンを脱着し始動させました。その時の達成感ですっかり整備が好きになりました。その時のメンバーとは今でも連絡を取り合う仲です。

卒業後はコマツ福島の支店で10年ほど働き、只見に戻ってきました。昨年、父から社長を引き継ぎました。父は会長として今も働いています」

―どんな思いで仕事に取り組んでいますか？

「工事現場を止めないことを優先し、臨機応変に機械の応急処置などをできるようにしています。一番はケガ、事故の無いように、状況を正しく判断することが大事だと思います。機械も日々進化し、今はコンピュータ制御が増えてきました。認識不足や勘違いで迷惑をかけないよう、日々勉強して、的確な処置やアドバイスができるように心がけています」

―只見で働いていて感じていることは？

「除雪は只見の暮らしや交通を守るために欠かせません。また、雪崩や大雨の被害が起きることもあり、復旧やインフラ整備に携わる方々の役割も大きいと感じています。機械の整備を通じて、除雪や工事に携わる方々を支え、土台になれればと思っています」

―これからの目標を教えてください

「高齢化が進む中、機械の動かし方もどんどん変わっているので、機械をしっかりと理解し、分かりやすい言葉で説明できるようにならなくてはと感じています。

また、集落の草刈りや除雪など、機械を活用することで人出や作業する方の負担を減らせる場面もあります。地域の方々に合った機械の使い方を提案し、有効な活用方法を広めていければと思います」

○有限会社只見重車輌
住所：只見町只見字町下2592－13
TEL：0241－82－2501

11月下旬～12月のイベント情報

11月1日(日)～翌年2月28日(日)
「奥会津体験博覧会 せど森の宴」

奥会津地域の各地で「奥会津ならではのモノ」を活かした体験型プログラムが行われます。プログラムごとに内容が異なりますので、詳細は「せど森の宴」公式WEBサイトをご覧ください。

【WEBサイト】
https://okuaizu-sedomori.com/
（下記二次元コードからもアクセスできます）

【問合せ先】
せど森の宴運営事務局
株式会社SATORU
（TEL050－1724－0621）

12月19日(土)
只見スキー場 オープン

大自然の中の小さなスキー場。子どもから大人まで楽しめるファミリーゲレンデで、スキーやスノーボード、雪国ならではの遊びや体験を満喫してみませんか。

【住所】福島県南会津郡只見町只見字田ノ口24
【問合せ先】TEL0241－82－2304

※編集時点においての開催予定になります。詳細は各問合せ先にご確認ください。

